

下田への 思いをインタビュー 街を護り、護られている神社



平安時代から続くこの鹿島神社は、はるか昔よりこの地の護り神<鎮守の社>として地域の皆様に親まれ、大切に護られてきました。その姿は時が経った現在でも変わらず受け継がれております。お正月には初詣に訪れて頂いたり、毎年秋の10月16日には例祭 宵宮祭(秋祭り)が開催されます。そこでは地域の方に屋台を出して頂いたりしながら、一緒にお祭りをつくったりもして

いるんですよ。「歴史ある由緒正しい場所」として少しキョリを感じられるかもしれませんが、こういった村の神社は地域で暮らす人があって初めて成り立ち、続いていく場所です。だからこそ、これからは地域で暮らす方が気軽に訪れやすい、ひらかれた場所として神社をつくっていきたく考えています。ぜひこの街で暮らされるときは、一度足を運んで頂けると嬉しいです。

歴史が詰まった思い出の場所



絵馬殿は奈良特有のものらしく、ここ鹿島神社にも地域に暮らす多くの方の思いごとが奉納されています。子どもが生まれたらお宮参りに訪れる人も多く、家庭によっては世代を越えて訪れる方も。下田に暮らす人にとって、思い出と歴史の詰まった場所として根づいております。



インタビュー-PROFILE
神主 / 池田さん

鹿島神社
〒639-0231
奈良県香芝市
下田西1丁目9-3
TEL/0745-78-7535

PHOTO SPOT 素敵な下田の街をパジャ!



ふれあい朝市にはたくさんのお客さんが集まりコミュニティの場になっています。



香芝駅からふれあい市場までは徒歩1分ほど。多くの学生やサラリーマンが使う駅です。



地元の人が大切にしている神社です。お祭りの季節は地域の人たちが多く集まります。



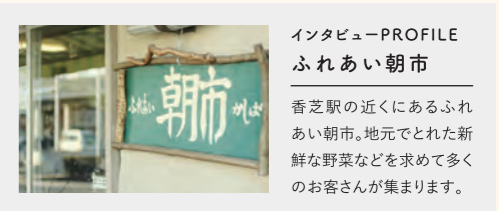
近鉄五位堂駅では、都心へのアクセスがよく様々な人たちが利用しています。



地元の繋がりが強く
あたたかい街

奈良県香芝市の下田近辺を特集。ここにしかない街を楽しんでほしい。今ここに住んでいる人から、これから住もうと考えている人にも、もっといいところがあると気づいてほしい。ここに根づく歴史と人との関わりをまとめました。

「ふれあい朝市」からみる 街と出会い



インタビューPROFILE
ふれあい朝市
香芝駅の近くにあるふれあい朝市。地元でとれた新鮮な野菜などを求めて多くのお客さんが集まります。

街 × 食 [朝市のスタッフ] からみる



売り手の顔、買い手の顔、生産者の顔、みんなの顔が見える。それがここ下田にある朝市です。スーパーなどの商業施設が増え、いち農家が作物を作ってもなかなか売れないこの時代の中で「行き場をなくした地元の作物を販売しよう」というのが、はじまりでした。ここに野菜をもってくる生産者との出会いや、つながりはもちろん、その野菜を手に取りながら、会話を重ねてお客さんにお買い物をしてもらうので常連さんも増えました。いまや下田に暮らす人にとって欠かせない憩いの場となっています。



[朝市のスタッフ] からみる 成長×子供

朝市をはじめてから、もう20年になります。はじめた頃は出会った時子供だった人が、いまや家族をもって生活をしている。そんな成長した姿を目にするのも多くあります。この市場での会話から、お互いが仲良くなり、下田での暮らしに馴染んでいく姿もあるので、街のお祭りやイベントでより関係を深めていく。そんな光景もみることが出来ますよ。

香芝の手作りみそ



香芝で収穫された大豆やお米など、朝市に参加している生産者の農作物を使用して味噌をつくっています。年に3回、600キロほど。これは香芝のブランドになっていて、小学校や保育園の給食にも使用されているんですよ。

朝からお客さんが並んでいます!

朝市は8時に開くんですけど、7時台にはもうお客さんが並んでイッパイ。だから8時15分にはもう品物が無い状態です(笑)。朝イチから「おいしかったよ」といった声も頂けるので、すごく元気になりますよ。



手作りで季節の野菜や果物を紹介!

「柿には、ビタミンCがたっぷり風邪予防の効果もあるよ」「かぼちゃには、美肌効果も!」といったコメントやイラストを添えて、野菜・果物を紹介しています。買い手と売り手のキョリが近くなる。そんな家庭的な空気が朝市全体にはありますよね。いつもお客さんに参考にしてもらっています。



育児の先輩がいっぱい!



もちろん!安心安全な地元の野菜・果物が販売されています。だから、子育てにもすごくいい食材が手に入ると言うんです。加えて、子育てでの相談に乗ってくれるスタッフやお客さん同士の出会いもあるので暮らしやすいですよ。

[朝市のスタッフ] からみる

レシピ × 今日のご飯



スタッフが、販売している野菜をつかってできる料理のレシピを紹介したりもしています。例えば「大和まな」。この大和野菜をつかったレシピを紹介することで、お客さんに奈良の食文化を知ってもらう機会にも。よりおいしく食べてもらうためのスタッフや生産者のあたたかい工夫が朝市にはあるんです。食にも出会って欲しいです。

[朝市のスタッフ] からみる

下田 × 可能性



香芝市は、基本的に住宅地。地元の人ではない方もこの土地に引越して来られることが多くあります。その中で、朝市での買い物をとおして、奈良のことを知るきっかけとなったり、スタッフやお客さんとの出会いができるきっかけが生まれています。農業を営み、

販売する人たちにとっては、お客さんからの「おいしかったよ!」「また来年もよろしくね!」といった声が届く場となり「作る」活力にもつながっています。横のつながりが、なかなか生まれづらい世の中で、朝市はそれを補う役割を果たしている。そう自負しています。